



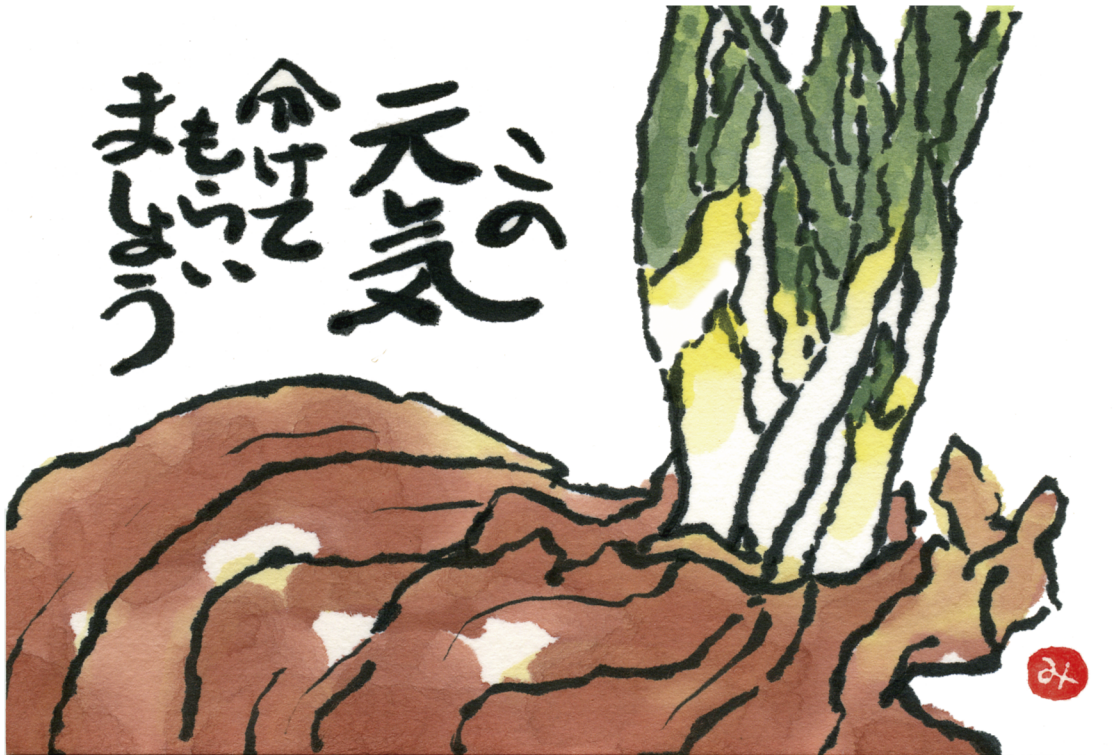
シルバー

松山

春季号

<発行>

社団法人 松山市シルバー人材センター
所在地 〒790-0808 愛媛県松山市若草町 8-3
TEL (089)933-7373
FAX (089)933-0131
URL <http://m-silver.sakura.ne.jp>
Eメール matuyamasc@sjc.ne.jp



絵手紙「たまねぎ」

目次

- P11 表紙
絵手紙「たまねぎ」
会員 佐藤みどり
- P12 「会員憲章」宣言(案)
東日本大震災義援金にご協力を
- P13 理事会の動き
第4回定例理事会報告
- P14 現場体験記(松山福祉事務所)
「ばあば」っていう優しいひびき
介護に携わって
- P15 会員アンケート調査結果まとめ
P1657
- P18 賛助会員新春懇談会(その②)
P18 地域班だより
「地域懇談会」Q&A
クロスワードパズル
- P19 松山ぶらり・ぶらり「句碑と温泉」
道後温泉と文学碑
- P10 若草会だより
サークル紹介(カラオケ、俳句)
- P11 会員の広場
我がセカンドライフ
自慢の孫紹介
- P12 こちら事務局
平成23年度会費納入について
「急告」事故多発!
シルバーサロン開設

編集後記

これくらい 軽い気持が 事故のもと

(社)松山市シルバー人材センター 平成22年度「安全就業スローガン」最優秀作品 (山崎鐵雄さん作)

設立25周年を機に

社団法人 松山市シルバー人材センター

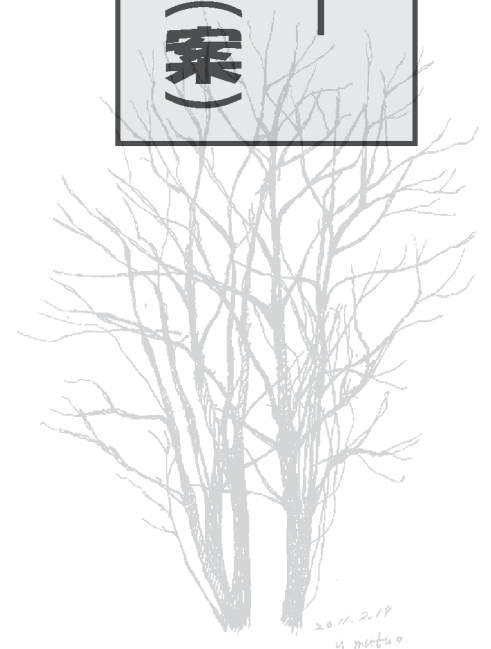
「会員憲章」 宣言(案)

我が国は、世界に類を見ない少子高齢化が急速に進んでおり、私たちの身のまわり

では高齢者の「孤独死」や「無縁社会」等多くの問題が表面化しています。

そのような中で、当センターは、地域社会から親しまれ温もりのあるセンターづくりを目指して、健康で働く意欲のある高齢者が集い、就労やボランティアなどの社会参加、若い世代との交流など、生きがいのある生活をめざして参りました。

設立25周年を機会に当シルバー人材センターの基本理念である「自主、自立、共働、共助」の精神のもと、地域社会から信頼される就労・活動の徹底を図り、高齢者自身の「社会的役割」をキーワードとし、すべての世代の生きがいある生活をめざし会員のあるべき姿を「会員憲章」としてまとめ、ここに宣言します。



会員憲章(案)にご意見を!

今年度事業計画に基づいて、第四次中・長期計画の策定に着手し、第四次中・長期計画策定検討委員会を編成し、平成24年度を始期とする新たな計画を現在作成しています。

今後のセンター事業を考える中で、会員さんのあるべき姿や、当センターの経営方針を定めておく必要があるとの結論に達し、第四次中・長期計画策定に併せて、会員憲章と経営理念を制定する事といたしました。

第4回定例理事会で、冒頭のとおり会員憲章案をまとめましたので、会員の皆様からご意見を伺いたいと存じます。ご意見を、平成23年5月9日(月)までに左記へ郵送又はご持参頂きますようお願い申し上げます。

松山市シルバー人材センター

会報編集委員会担当

企画係長 吉野

東日本大震災

義援金にご協力を

シルバー人材センターでは、この度の東日本大震災で被災された人々に届ける義援金を5月末まで募っていますのでよろしく願います。

- 一 わたくしたちは、信頼される活動を継承します。
- 一 わたくしたちは、社会貢献活動に積極的に参加します。
- 一 わたくしたちは、自らの生活基盤の確立と健康づくりに努めます。
- 一 わたくしたちは、高齢者ケアの一翼を担い助け合います。
- 一 わたくしたちは、生涯学び続けます。



理事会風景

3月28日(月)松山市シルバー人材センターにおいて、第4回理事会を開催しました。

開催に先立ち、3月11日の東日本大震災で犠牲になられた人々に対し、黙祷を行いました。

麻生理事長から「今年度最後の理事会です。創立25周年の節目でもあり、公益社団法人化に向けて体制整備を行いたい」と挨拶がありました。

今回の理事会では平成22年度収支補正予算案など6つの議案が提案され、いずれも審議の末、原案どおり承認されました。また各理事部会や委員会、事務局から報告がありました。これからの日程として、5月の理事会を経て6月の定期総会に向けての方針案固めを行います。

第4回定例理事会報告

理事会の動き

第4回定例理事会報告

議案・案件		内容・要旨
第1号議案 平成22年度収支補正予算(案)について		平成22年度収支補正予算(案)について
第2号議案 第4次中・長期計画策定に伴う会員憲章及び経営理念(案)について		○会員憲章(案)について承認後、全会員に提示し、意見等を徴し、次回理事会で検討後、平成23年度通常総会議案として提案し会員憲章を定める。 ○経営理念等について、次回理事会で、経営理念・経営方針・行動指針を定める。
第3号議案 平成23年度事業計画及び収支予算(案)について		平成23年度事業計画骨子(案)及び収支予算(案)が示され次回理事会で通常総会議案として提案する。
第4号議案 営業推進実行委員会規程(案)の制定及び事務系職種就業分野開拓推進委員会規程の廃止について		会員の就業開拓並びに営業活動に関する業務内容を検討、その対策を実行するため営業推進実行委員会が設置された。
第5号議案 女性会員活動活性化委員会規程(案)の制定及び事業推進機構設置要綱の一部改正について		女性の潜在能力と連帯感をもって当センターの事業活性化を推進するため、理事部会として「女性部会」を設け、活動を具現化する組織として「女性会員活動活性化委員会」を設置する。
第6号議案 諸規程の一部改正について		○介護職員処遇改善臨時特別手当支給要綱の一部改正 ○改正労働法に伴う給与規程及び就業規程の一部改正
理事部会報告	総務部会報告	○平成23年度会報編集について ○25周年記念事業について ○3部会長会の開催と課題の取り組みについて
	事業部会報告	○地域懇談会について ○独自事業について ○新年度事業部会検討事項について ○新規事業(25周年記念事業)について
	介護部会報告	○平成23年度介護職員処遇改善交付金承認申請書の提出について ○仮称「シルバーふれあいサロン」の実施報告について
委員会報告	第6回公益法人制度改革に伴う運営検討委員会報告	○定款(案)及び諸規程(案)について ○平成23年度収支予算(案)について
事務局報告	書面審議結果報告	○第9回書面審議決議(入会申込者31人承認) ○第10回書面審議決議(入会申込者15人承認) ○第11回書面審議決議(入会申込者55人承認) 〃(平成23年度介護職員処遇改善交付金対象事業者承認申請書の提出) ○第12回書面審議決議(入会申込者28人承認)
	事業の実績報告	○平成22年12月末現在
	成年後見人制度の取り組み	○第1回市民後見人講座(基礎講座)の開催について
	緊急雇用対策事業	○高齢者買物支援モデル事業の実施について
	ボランティア活動	○第49回えひめマラソンボランティア参加について
	次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の策定及び届出について	

「ばあば」っていう 優しいひびき

石井 F-3 越知 カヨコ

昔とったきねづか

ばあばママ養成講習会を平成17年に受講し、その後イベント会場での託児・愛媛県総合運動公園でレクリエーション教室の託児が始まり、「ばあばママ」として就業させてもらっています。

「ばあばおはよう」とお母さんより先にお部屋に入る

子、お母さんの腕にしがみつきなかな離れられない子、入る前から大泣きしている子と様々。にぎやかな託児室の朝の風景です。

子育てはとつくの昔に終わっているけれど、昔とったきねづかで「子育て支援なら私達にまかせて」とばかりに子どもが少々泣くくらいでは、びくともしない頼もしいばあば。そんなばあばに見守られながら、元氣いっぱい遊んでいます。

人気を呼ぶ手づくりのおもちや

託児室の中には、子ども達の大好きな遊び道具や絵本、おもちゃ、ビデオなどがあります。その中でも人気ナンバーワンは、ばあば手作りの箱自動車です。みかん箱に、腰紐を取り付け、ガムテープで頑丈に補強した自動車が3台。ひっぱって遊んだり、乗ってばあばに引っぱってもらったり、子ども達の激しい動きに息を切らせながら、泣き止まない子を抱

現場体験記

松山福祉事務所



「子育て支援ならまかせて」と張り切る「ばあば」



っこし、おんぶであやしめたりと体力勝負で取り組んでいます。
1時間ちよつと遊ぶと、楽しいおやつが分ならず、あつちこつち押ししたり引いたり、3〜4人のばあばの知恵で、やつと開け方が分かったりと、色々なハプニングで大笑いします！
月曜日から金曜日までの午前中2時間をこんな調子で楽しく仕事をさせてもらっています。

感動をもらいながら

初めての立った、歩き始めが託児室で思わず拍手したり、子供が「ばあば」って言葉を覚えて言ってくれて、感動でうれしくて目がうるうるとなります。

また、「ばあばが大好きで、ここに来るのをとつても楽しみにしています」とか、「母親以外の人は絶対に眠らなかつたのに、ばあばのお膝で気持ちよく眠っているわが子を見て『さすが』とおどろき安心して預けられます」などの感動が寄せられ、私達も老体に鞭を打ちながら、子ども達の成長を楽しみに頑張っています。

介護に携わって

雄郡 A-2 亀岡 伊都子

シルバーセンターとの出会いは、平成16年2月でした。早いもので、事業所の皆さまや、共に働くヘルパーの方々そして利用者の方達の温かい気持ちに支えられて、7年を迎えました。

そんな中で3年前、今年86歳になられたC子さんの出会いはありました。認知症を伴われた要介護4、笑顔のやさしいとても穏やかな女性の方です。

認知のほか、両下肢筋力の低下もあり、声かけや見守りをしながら、社会交流も視野に、買い物や外出介助、入浴等を安



介護者も心と体の健康が大切です

完全に配慮しながらサービスに努めさせて頂いております。

昨夏の猛暑の折には、外出を控えた時期もありましたが、現在は、すっかり健康を取り戻され、快い靴音でしっかり歩かれるようになり、ヘルパーにとつて大きな喜びとなっています。

そんなC子さんも時折不快な表情をされることがあります。それはヘルパー自身の体調が十分でなかったり、何かしら不安要素を抱えてのサービス中に起きることもあるように思われます。

大きな反省点です。介護者にとつて健康は必須条件ですが同時に「心の健康」が不可欠であることはいうまでもありません。

一日一日を顧みて、サービスの現場や研修会、また関係者の方々から学ばせて頂いたことを刻み込みながら、日々、精進すべく努力をしているところです。

信頼関係と笑顔を目指して、前向きに頑張るつもりです。C子さん、これからどうぞよろしく！

会員アンケート 調査結果まとめまる

昨年12月、第4次中・長期計画策定検討委員会が会員さんの現状を把握し、今後のセンターの在り方を定めるため、全会員さんと登録を検討している高齢者を対象にアンケート調査を実施し、その結果がまとまりましたのでご報告します。

(1) 回答数について
回答者は、全会員の約30%の方々でした。(表1参照)

表1 アンケート発送数と回収数

項目	発送数	回収数	回収率
会員	3,060	951	31.3%
会員外	73	34	46.6%
合計	3,133	985	31.4%

表2 現在の収入は、生活をしていく上で十分ですか

項目	回答数	回答率
十分である	23	2.3%
贅沢をしなければ十分	240	24.4%
ギリギリである	512	52.0%
生活費が足りない	197	20.0%
回答なし	12	1.3%
合計	984	100.0%

表3 入会の目的は

項目	回答数	回答率
仕事(収入)を得たい	859	89.3%
生きがい	365	37.9%
社会貢献	334	34.7%
経験を活かしたい	187	19.4%
友人づくり	170	17.7%
情報収集	107	11.1%
その他	27	2.8%

(2) 現在の収入に満足しているか?

年金が主な収入源の会員さんが現在の収入が生活するために十分かどうか伺いました。その結果、「ギリギリである」「生活費が足りない」と答えた方が約70%を占める結果となり、厳しい生活状況であることが浮き彫りとなりました。(表2参照)

(3) 入会目的

収入を得るため、しかし就業できないが20%存在。入会目的を伺ったところ圧倒的に、「仕事(収入)を得たい」と回答した方が多い結果となりました。生活が厳しい状況を反映して、足りない生活費を補う事などを目的として入会されるものが90%に達しました。(表3参照)

表4 センターの会員となって満足ですか

項目	回答数	回答率
満足している	569	59.1%
不満がある	220	22.9%
回答なし	173	18.0%
合計	962	100.0%

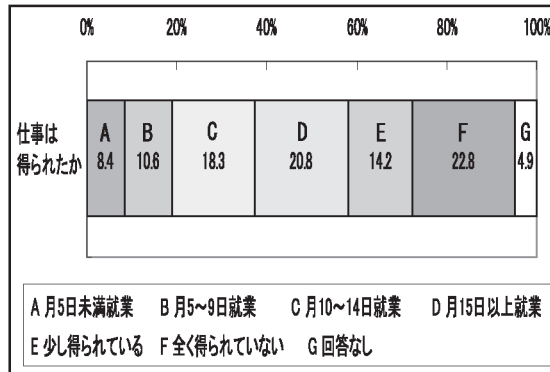
表5 不満の内容はどのようなことですか

項目	回答数	回答率
収入面で満足できない	89	40.5%
事務局の対応に不満	49	22.3%
能力・趣味等が活かせない	42	19.1%
業務・研修内容に不満	24	10.9%
時間を有効活用できない	21	9.5%
イメージが悪い	17	7.7%
その他	59	26.8%

(4) 会員の満足度

センターの会員となつての満足度は、「満足している」が569人の約60%が満足していることがわかりました。センターの役割である高齢者の社会参加を促す結果として「健康的な生活」につながっていると思われまます。(表4参照)

表6 仕事を得られた人の割合



(5) まとめ

センターに入会する会員の目的が「仕事(収入)によるもの」が大きく、期待した収入が得られない人にとっては不満となっています。今後、仕事の斡旋の在り方、職員の研修、会員のスキルアップなど、センターの在り方をもう一度考えていく必要があります。

ます。仕事の分かち合いがセンターの就業にも求められていますが、お客様の要求に答え得る、仕事のスキルを一定に保つことが必要です。

アンケートにご協力いただいた皆様
ありがとうございました。

シルバー人材センターにおける

高齢社会化対策と

企業との関わり

(その②)

開催日時 平成23年1月6日(木)

午後1時~3時

開催場所 東京第一ホテル3F「若草」

参加者 賛助会員・シルバー人材センター
(五十音順・敬称略)

株式会社ヘルシープラネット

代表取締役 今川 弥生

四国メデイコム株式会社

代表取締役 金子 文理

岡田印刷株式会社

代表取締役 桑波田 健

株式会社パルソフトウエアサービス

代表取締役 高市 眞一

社団法人日本産業カウンセラー協会

理事 田中 節子

シルバー人材センター

副理事長 広報担当 熊野 伸二

理事 事業担当 山本 祖

常務理事 水口 一

事務局長 矢野 博志

事務局次長 総務担当 柳原 祐二

(司会 田中) シルバーの良さは、これまでの貴重なご経験と豊かなコミュニケーション能力を持たれた人材を3000人抱えている組織ということ。今回の懇談会は、その人材を活かしながらシルバー人材センターをどう発展させるかを探る大きな目標があるのかなと感じております。それではセンターの現状紹介と問題点のご説明をお願い致します。

賛助会員
新春懇談会

(その②)

加価値がなければ、利益を生まない分野での仕事への継続的発注を頂ける機会はなかなか得られません。会員がよい仕事、いい活動をしているという事が、外部から評価され、本人の生きがいに繋がるようなシステム作りをし、魅力を作るにはいかにあるべきかを、今日賛助会員の皆様方からのお話をヒントに、どんな作っていく礎ができたかなと思っております。

(副理事長 熊野) シルバーについて正しい認識をもって頂くためのPRが不足していたと反省しています。

(金子) 民間の企業業績が悪くなったなら何を最初にやるかというところ、どういう風にして経費を削減していくかという事を考えるんです。

だから最終的にはシルバー人材センターにはどんな魅力があるかという所を皆で検討してやっていかないと、なかなか難しい問題ではないか。

(高市) 企業は今痛んで来てます。値上げされれば絶対相見積を取って安い所に仕事を出していきま。そう考えていくと

シルバーさんに頼むメリットはそのうち無くなってくる。

企業が元気があるときはいいが、危ない企業が一杯ある中で、値上げをするという考え方自体おかしい事と思います。会費が2000円上がってもシルバーに人が集まるような魅力的な集団にしないといけないし、シルバーは知恵袋だと思っておるんですね。

この知恵袋がシルバーに行くと思えない。今の社会の中、この狭い所ですがこの知恵袋をシルバー世代の中で最大限發揮してもらおう事を考えないと、世の中の不均衡が発生するんじゃないかと思う。

次の世代がいらない、高齢化してうちのパソコン教室は運営出来ないです。この次の事をシルバーの方が考えてくれているとは思ってないで(笑)、うちの会社はパソコン教室が出来ないという危険があるので、どこかでは変えないといけないという事を我々経営者は考えます。

(理事 山本) それは、考えて養成して。情報提供が、広報が不足してまして...お約束します。

(高市) あつ、そうですか。安心しました。

(金子) 自分に実力が無ければ、いくら年をとっても仕事は出来ない一人一人に意識して貰わないといけない。何人でも受け入れるのは受け入れません。

しかし「受け入れるが仕事は有りません」という中途半端なやり方は一番いか

(事務局 柳原) センターの現状を紹介します。補助金を3分の1程度縮減すべきという話は変わりようがない事で、今後我々は公益社団法人として地域の中で公益性がちゃんと保てる団体として活動をより透明化していく事を宣言するよう、部内では決定しています。この新年度に設立25周年を迎える事になり、補助金依存型の事業展開から自己財源を確保すべくさまざまな条件整備をし始めている所です。またシルバー人材センターの魅力や付

だが生活する為には自分がそれなりの気持ちにならないといけない訳ですね。

(司会 田中) 生活保護者10人増えれば1700万という論点、そして健康保険のお金がいらなくなればという論点、そこをしっかりと認識して頂くと行政は実はもつとお金を出していいんじゃないか、公益法人として、お金が下りて来てもいいんじゃないかって感じましたけれども、いかがでございましょうか？

(高市) 仕事をするとはどういう事か。そしてそれを束ねる団体はどういう役割を果たすのか。自分達が健康管理はしっかりとすべきで責任だと思ふ。

そしたら働くという事はどういう事なのか、就労に不適格な人達を企業に出す事が問題なんです。

それを避けるには組織としてどうするのか、教育はどうするのか、今持っている知恵袋のレベルをどう上げていくのか、という事を組織が明確に言わないと、我々は雇うことは無い。

組織がどういう風に見極めて、我々企業に出していくかというか、フィルタがないと我々は受けませんよという話なんです。

営利目的でやっている企業は、給料を下げて教育費を捻出し新しい利益を生む為に教育をしている。公益法人化するんだったら、その事を考えない限り悪循環に陥りかねません。

(司会 田中) 会費が上がる事によって

会員数が減る事もあるだろう。人数にかかわらず質のいいものになりたい、会員は減ってもかまんとするのは矛盾したことになるような気がします。

(金子) ふるいから落ちた人は、なんぼ歳とつてもかまんと、どうしようが自分で生活していく、それが人間として生まれた以上しようがない訳ですかね。それをどう見るか、難しい問題ですね。

(司会 田中) セーフティネットというのがあって公益法人となつたらそこは大事？

(事務局 柳原) これは昭和55年に出来た制度のもう老疲、疲弊ですよ。当時は企業さんも元気でバブル期でしたから、企業サイドに余力があり依存が可能だった。

我々は結局その制度の中で甘えている部分がある訳で、会員が増える減るといふ話も、これは制度上の問題でうちの公益性・公共性というものが、誰でも受け入れられるから公益性なのか。

(司会 田中) 賛助会員の皆さんから一言ずつ、何があったら頼みやすいのかっていう所をお伺いしたいと思います。



(桑波田) 間違いなく高齢者はどんどん増えていきます。少なくとも私も来たるシルバーさんは先ほど言った様に、「使つて良かつ

た」人たちがすし一生懸命、仕事をしてくれたというのが私の体験ですよ。

企業側がメリットを感じなかったら採用しなければいい訳で、シルバーが努力をしながら企業側に提供すれば接点はあるでしょう。

(金子) 御蔭さまでいい人材を派遣をして頂いて、派遣の期間を過ぎてからはうちの契約社員という形で私の相談役をして頂いております。

業種によってシルバーの方を採用できる業種とそうでない業種というのがあります。ハローワークからは、月に一度位、人材の紹介情報が私どもの方に来ております。シルバーもそういう風なものを企業に発送して頂くと若干なりとも違ってくる。

(司会 田中) シルバーの人材情報を企業に提供していくという事ですね。

(高市) ここにいらつしやる方はシルバーとお付き合ひ長いです。いい人が来るから何の不満もないんですよ。

継続を考えた時ちよつと問題ありますけど、我々企業としては競争相手はシルバーさんだけではないから特別扱いしないし、100%を求めます。シルバーだから70%でいいとはならない、じゃあコスト下げて下さいという話になる。そういうところの問題がひとつですね。

シルバーは知恵袋なんです、今までの経験を生かして企業にどう伝えていくか、どう仕事で支えていこうとしていく

かという事です。20時間の間でその知恵袋を100%出して下さい。

(司会 田中) いい所をどんどんPRして行くべきだという事でした。



(今川) 今回、私がデイケアセンター経営に際して「シルバー人材にお願いする」って言った時に、「若い子雇いましよう」って殆ど言われます。会員の人を見た事がないとか、存在は知っているけど知られていない。

自分達は「ここがすごい」って言って頂くと、それが魅力になっていきます。自分達の宣伝は自分達しか出来ないんだと思って、前面にどんどん出して頂くと、私たちが口車に乗って「いいよ、いいよ」って言いたいという風に思っています。

(司会 田中) イメージアップ宣伝はお金が掛かります。どこに一番効果的にお金を掛けCMするかが一番大事です。自分のいいところを自分で考え、他の人から聞いて見つけて、それを自分から言える様にしないと誰も雇ってはくれない。

企業に向けても、その活動が大事。行政に向けて、この存在価値をPRするのは役員・職員の皆さんのお仕事です。しっかりと存在価値をPRしていくことが不可欠ですね。

今日は拙い司会ではございましたけれども、ご協力有難うございました。

平成22年度 『地域懇談会』 Q & A

地域懇談会に参加された皆様から貴重な意見、質問をいただきました。その中の一部を紹介いたします。

【主な意見・質問】

Q 会費がアップ(3200円)するが、段階的な引き上げはできなかったのでしょうか。

A 事業仕分け等による補助金の急激な大幅削減があり段階的な引き上げは出来なかった。

Q 公益社団法人へ移行するメリットを教えてください。

A 税の優遇措置があり、公益社団法人になると社会的信用が得られる。

Q 事務局に行かないと仕事はもらえないのでしょうか。

A 掲示板、ホームページ、レホンサービスなどの情報を参考に事務局と相談して下さい。

就業情報レホンサービス

(933-7147)

Q 地域班主導の集まりを開催したいが。

A 地域班長、班員が相談して独自の集まりを行うことは可能です。さまざまな案を出していただいで企画して

ただければ地域班活動の活性化につながります。事務局は、そのサポートを惜しみません。

地域班活動ニュース

堀江A班では、地域懇談会の企画提案により試行錯誤しながら、カラオケ倶楽部、ウォーキング・ハイキング健脚倶楽部、菜園倶楽部の3グループの地域班活動をを行っています。カラオケ倶楽部ではブロック長のもと、各班のリーダーも奮闘し「久枝・潮見・堀江3地域班合同カラオケ大会」を隔月で開催しています。



カラオケ倶楽部

ウォーキング・ハイキング 健脚倶楽部



クロスワード パズル

二重枠に入る人物は誰でしょう？
葉書に、解答、郵便番号、住所、氏名及び電話番号を記入して、下記にお送りください。

正解者の中から、抽選で5名の方に粗品を進呈します。賞品は、6月初旬にお送りし、次回の会報に正解及び当選者のお名前を掲載します。

記

- 1 締切日 平成23年5月20日(金)
- 2 送り先 〒790-0808 松山市若草町8-3
松山市シルバー人材センター
事務局 吉野

横のカギ

- 1 みたとおりになる夢
- 4 木質をなさない植物
- 5 江戸城を築いた人の姓
- 9 亭主関白と〇〇〇天下
- 11 山びこともいう。
- 13 〇〇の子落とし
- 14 権勢のある者に付き従っている人

縦のカギ

- 1 ミクロの対極語
- 2 小型の竹の総称
- 3 僧侶にささげのお金や品物
- 6 〇〇目八目
- 7 娘が結う髪型。〇〇〇〇田
- 8 細長い筒
- 10 〇〇〇慣行
- 11 数え70歳の祝い
- 12 ねらい。対象

1	2				3
4					
		5	6	7	
	8		9		10
11		12		13	
		14			

カラオケでは毎回「同じ曲」を披露しあっても、歌う側、聴く側は日々心境が違いますから新しい発見があるのです。ウォーキング・ハイキング健脚倶楽部では、地域で開催される「地域の史跡めぐり」など、積極的に参加します。

去る2月20日には粟井地区にある標高約201mの「宅並山」へ登山し健脚を発揮して参りました。シルバー会員という共有・共通感覚のぬくもりを感じながら身体いっぱい笑

顔があり、身体の奥から湧き出すものを糧とできることは「人」という生きものだからのものであると考えます。ちよつと興味のある方、近隣の地域班会員の皆さん、是非ご一緒に体感してみませんか。

連絡先

堀江A班 地域班長 田中 瞳
TEL 978-2153



道後温泉と文学碑

飛鳥・奈良時代から「伊予の湯」として有名だった道後温泉には、聖徳太子や額田王など大宮人が来浴されたと伝えられています。以来、現代まで、全国の多

くの人に愛されている日本最古の名湯です。

いま、国の重要文化財に指定されている道

後温泉本館は、明治27年、当時の道後村

長・伊佐庭如矢の発案で建てられ、翌年、松

山中学校（現・松山東高）英語教師として来

松した夏目漱石も大変気に入って、盛んに通つ

たといわれます。

この道後温泉周辺には、句・歌・誌碑など文学碑が多数ありま

す。まず、椿湯構内には、聖徳太子が温泉の素晴らしさを「理想の国―天寿国のようにだ」と称えた「伊予湯岡碑」があり

ます。

本館の神の湯には、代表的万葉歌人のひとり山部赤人の「伊予温泉の歌」を刻んだ湯口の石があります。「天皇や官人が行幸されたゆかしい所」とうたった長歌と短歌です。



道後温泉本館

本館から右へ徒歩5分には松山市立子規記念博物館があり、庭には親友だった子規と漱石の俳句を一基に刻んだ句碑や「足なへの病いゆとふ伊予の湯に飛びてもゆかな驚にあらませば」という子規歌碑や、一茶の句碑もあります。

温泉本館から左側の坂を上ると旅館

街。老舗「大和屋本店」の生け垣

沿いや庭には子規、漱石、碧梧桐、山頭火らの

句・歌碑9基があります。

伊予鉄道道後温泉駅前の放生園には、極堂と

盲天外の句碑があり、そこから

湯月町方面へ坂を上ると旅館

「ふなや」があり、さら

に一遍上人ゆかりの宝厳寺に到ると一遍、茂吉の歌

碑、子規、黙禪の句碑、川田順の散文誌碑があります。

道後温泉を囲んで、これほど多くの文学碑があるのは、ゆかりの文人墨客がそれだけ多いということを示しています。

碑を巡って「いで湯と文学」を考えてみてはいかがでしょうか。

(S・K)



「寝ころんで蝶泊らせる外湯哉」一茶

(子規記念博物館 前)



「足なへの病いゆとふ伊予の湯に飛びてもゆかな驚にあらませば」子規

(子規記念博物館 前)

「伊予湯岡碑」 聖徳太子



(椿湯 構内)



「ずんぶり湯の中の顔と顔笑ふ」山頭火

(大和屋本店 前)



「漱石が来て虚子が来て六三十日」子規

(大和屋本店 前)



昨年秋の文化祭で練習成果発表（於：コミセン）

サークル紹介

♪カオオケ♪

石井D-2 齋藤 彬彦

若草会に「カラオケサークル」が誕生したのは、平成14年。以来9年を経て現在会員は20名。毎月第1・第3土曜日の午後2時から約3時間2階の和室で大好きなカラオケ練習に取り組んでいます。前半の1時間は今まで練習してき

若草会だより

俳句

久米A-3 和田 幸信

この会は平成11年7月19日に、11名で発足しました。活動は毎月1回、第3月曜日、会費は月300円。

た曲や各自の持ち歌を披露し、コーヒータイム後の2時間は、男・女がその月に選定した課題曲に取り組みます。楽しみは、会員一人一人が大きな声を出して唄うことと、秋の文化祭で、1年間の練習成果を大舞台で歌い切る喜びです。

また、忘年会、新年会、お盆時季などに会員相互の親睦を図るための市内のカラオケ店での交流会です。さらには、楽しみに加え、北条支部会員との交流を図る、両カラオケサークル主催で行う親睦会で、相互の歌唱力に磨きがかかる成果も上げています。これからも、カラオケサークル発展のために、皆さまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。



年1回の「長寿を祝う会」

句会は午後1時からで、各自が兼題と自由の句を3句ずつ投句します。係の人がそれを集めて配り、各自が清記し、その中から良いと思う句を6句と特選の1句を選び提出します。その句を披露といって、係の人が読み上げます。ここで作者が名乗り出ます。そして、特選を選んだ理由など講師の先生の講話があり、質疑に花が咲き句会が終わり、次回の相談をします。年1回は、吟行会といって外へ出て俳句を作り句会をします。また、講師の先生作成の会報を配布し掲示。年1回「長寿を祝う会」など多彩な活動をし懇親を深めます。

「デイサービス道後茶寮」を開設

高齢者向け手作り料理で「身体の栄養」と道後の町並みや「落語」・「音楽」などを楽しめる「心の栄養」もご提供いたします。

（スタッフにシルバー人材センター会員さんもおられます）



～ 食事メニューの一例～

健康 生活 提案
株式会社 **ヘルシープラネット**

愛媛県松山市道後町2丁目12-1-303
TEL 089-917-7899 FAX 089-917-7898
E-mail: info@healthy-planet.jp
URL: http://www.healthy-planet.jp

我がセカンドライフ

新玉A-1 矢野 潤一

私がシルバー人材センターに入会したのは、平成13年だったと思います。愛媛県総合保健協会をご紹介いただき、検

診車の運転に従事しました。70歳で定年になり、その後、市教育委員会の生徒送迎バスの運転を経て、現在は福祉事業団の身体障害者送迎バスの運転をしています。



会員の広場

私が過去に勤めていた会社では「服装の厳正・車両の美化」は厳しく指摘されました。以来、私は車両の手入れには気を使っています。きれいな車を運転すると気が引き締まり安全運転につながると思います。

先ず、運転前に深呼吸をして出発します。職場の仲間同士「仲良くおもしろおかしくやっつけていこうや」をいつも口癖にしています。普段の生活では、先ず「早寝早起き」です。そして愛犬と共に30〜40分朝晩2回の散歩です。早朝の空気は、きれいで気持ちが良いですね。70歳を過ぎて体力の衰

えを補うために昨年2月より始めた腹筋運動や、3kgの鉄アレイを両手に持ち「上下左右」に動かす運動を朝晩2度500回を目標に頑張っています。

この歳になると、何処かは悪い所もありますが、騙しだましでも勤められる元気があることは幸せですね。

30年位前から始めた剪定も趣味の一つですが、2年前から野菜作りを始めました。種苗店に並ぶいろいろな苗を植えているのですが、なかなか上手く出来ませぬ、これからの課題ですね。

自慢の孫紹介

寅輝ちゃん

市内電車でひとり旅

味生B 森下 富喜子

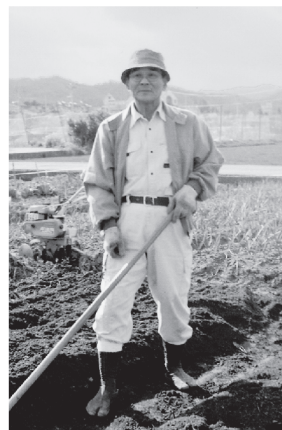
「おじいちゃん、ふきちゃん、こんにちは」、可愛い声が玄関に響く。孫の寅輝3歳です。誕生日、母親の目をすりぬ



3歳 寅輝ちゃん

け市内電車デビュー。古町までの一人旅を楽しむ。ワンパクでもいい、元気に育つて欲しい。パパバの願いです。

今の健康が続く限り、仕事は続けたいと思っています。50年余りになった運転という仕事を、「誠心誠意」という私の「モットー」を大切に最後まで勤めたいと思っています。



家庭菜園を楽しむ矢野さん

スポーツマン英太君

番町・八坂A 山本 昶

私の次男夫婦の「誠・みき」の長男英太で山本家はじめてのスポーツマンの種です。



6歳 英太君

棟田武道館で柔道修業中の6歳男子です。強いんです。少年柔道大会団体戦に先鋒で出場しました。今のところおじいちゃん大好きと言ってくれます。嫌われないよう努力します。

明らかに『じいバカ』です。ただ、自分分は年老いて失われつつある動きや素早い行動、成長が楽しみなんです。

冷蔵庫が壊れた → njc に頼んだ → 直った → やったあ♪
寝室にエアコン → njc で買った → ついた → かいてき♪
パソコンで困った → njc で習った → 分かった → たのしい♪

あなたの満足と笑顔を裏切らない会社です！

有限会社ナカノジョイントカンパニー (njc) 代表番号：089-960-3986

〒791-3120 伊予郡松前町筒井 445-2 (フジ松前店前) 家電販売・修理・パソコン教室

こちら事務局

平成23年度会費納入について

○ 会費が改定されております。

会費月額 年額 3,200円

年度途中に正会員となった場合

9月末まで 全額

10月以降 半額

○ 納入方法

センター窓口でお支払いください。

振り込み希望者は、振込用紙を郵送し

ますのでご連絡ください。

(コンビニエンスストアからの振り込み

も可能・手数料無料)

連絡先 本部総務係まで

○ 納入期限

6月末日までにお願います。

シルバーサロン開設

シルバーサロンがオープンし、第1回が3月16日、第2回が30日に行われ、あわせて132名の会員、介護サービス利用者が参加し、食・健康・遊ぶをテーマに交流を図り楽しいひとときを過ごしました。

◇次回開催予定

5月13日(金)・27日(金)

6月7日(火)・21日(火)

7月6日(水)・20日(水)

◇開催時間 13:00～16:00

◇開催場所 松山福祉事務所2F研修室

(松山市萱町1の1)

◇問い合わせ先 998-2888

担当 大林・佐野



サロンでの団楽風景

“ 息 告 ”

新年度早々の4月、会員65歳が就業先に向かう途中、交通事故に遭いご逝去されました。

生前、故人は「この齢になっても人のために役に立つことができる喜びがセンターにある」といわれていました。

事故が起こると本人はもとより、家族、同僚等の苦痛は、計り知れないものがあります。

会員、職員が一体となって安全就業に対する意識を高く持ち、事故ゼロに向けて邁進していきましょう。

編集「後」記

◇3月11日に発生した東日本大震災は、自然災害の恐ろしさをまざまざと見せつけた。マグニチュード9の地震、大津波、原発事故と三重の被害を東日本各地に与え、多数の死者と行方不明者を出し、甚大な被害が出ている。一瞬にして家や職場を失い、肉親を失い言語に絶する被害者の苦悩は、いかばかりか。一日も早い援助の手と復旧対策が望まれる。

◇それにしても大自然の前では、人間の無力さを知るばかりである。いくら宇宙に行くだけの技術をもってしても、地震や津波の猛威の前には、どうする事も出来ない。自然に対する考えを今一度再認識する必要があるようだ。

◇そんな中で、再起する人々の模様がテレビを通じて入ってくる。挫けそうになる気持ちを押さえ、自分のことも忘れ、避難場所を確保し秩序正しく復旧に立ち上がる姿は、私たちに生きる勇気を与えてくれている。人間は、自然の前では無力である。が、共に助け合い生きていく姿は、心を撃つ。

◇そして、避難場所のひとつにシルバー人材センターが気仙沼市にあることを知り、私たちの存在意義を再確認した。一条の灯火である。懸命に奮闘する仲間

愛媛産のフルーツ・野菜たっぷり!!

全国各地のフルーツもいっぱい!!

活きてるジュース

有限会社 創栄果実

いよてつ高島屋 地下売場内

Tel 089-947-2990

売場 089-948-2467